

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	○ 必要な資質や能力を、確実に身に付けられる学校 ○ 保護者や地域の期待に応え、信頼される学校 ○ 教職員が誇りと働き甲斐を持って動められる学校
------------------	--

学校名	新座市立第四中学校
実施日	令和 6 年 1 月 1 6 日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、目指す学校像の具現化に向けて、教職員の資質・能力の向上のために必要な指導や支援を組織的にしている。	A	教員の資質・能力の向上及び組織的な支援や指導のために、全教員が参加する校内研修を毎月1回以上、月1回の学年会を実施した。市内外の関係機関が実施する研修会に年間延べ100回以上参加した。校長の方針を繰り返し周知し、チーム学校として組織的に取り組めるように、校長室だよりを定期的に発行した。(12月現在32号発行)	A	社会の変化や学校としての在り方が変わりつつあるなかで、先進的な取組を行っている学校に共通しているのは教員研修を充実させていることから考えると、毎月1回以上全教員が参加する校内研修が実施できたことは素晴らしいことである。研修等で行ったことを、生徒への指導に生かせるよう習得へとつなげてほしい。他方、休暇の取得も、教職員の資質・能力の向上に必要である。そのための具体的な方法が見つかるとうい。校則改正等、学校全体で努力している。資質はSだと感じる。SOS現場にかけつける等、生じた問題に積極的に対応できている。 中間評価から大きく伸びているのは、充実努力の結果である。 「校長室だより」により校長の方針の確認や、共通理解が図られているのはよい。
学校は、生徒の発達段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。	A	教育相談部会や学年会を定期的に開催し、情報共有及び対応策の検討を行った。適切な配慮のための専門的知識を身に付ける研修を、大学の心理の専門家を招き行った。1人1台端末による学習状況の把握と情報に応じた個別の支援を行い、個別最適な学びの実現に努めた。	A	不登校生徒が増加傾向にあるなか、学習端末の活用なども含め、きめ細かに丁寧な支援を行っている。各家庭のそれぞれに問題があり、対応が多様多様だが、努力している。個別の支援をさらにお願したい。個に応じた指導、適切な配慮のための研修をしているのはとても良い。それぞれ配慮することは違うので、先生方で連携して情報共有すること。 Chromebookや紙媒体のワークの活用の仕方に検討の余地がある。

評価項目「学力向上」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、生徒が学習内容の理解を深め、主体性を育むことができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	管理職による教室訪問により、職員一人一人の良さを認め伸ばすとともに、気付いたことを共有して授業改善に生かせるようにした。新座市教育委員会による学校訪問に向けた準備や、当日の指導を生かして、指導と評価の一体化に向けた授業改善を行った。校内研修では、教員同士で授業を見合い、1単位時間の授業デザインを協議することで、主体的、対話的で、深い学びの実現に努めた。	A	教員同士で授業を見合い、1単位時間の授業デザインを協議する取組は大変重要であり、意義のあるものである。教員一人一人の行動が、授業改善等の結果として表れている。更なる研修の充実を期待する。 教科担任による生徒への指導や評価の説明は、生徒の主体性を育むために今後充実していくと更に良い。
学校は、ICTを有効に活用し、発達段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。	A	電子黒板や1人1台端末の様々な機能を活用して授業改善を図っている。電子黒板メーカーを招き、操作方法や活用方法を学ぶ研修会を開くとともに、市内外におけるICT研修会に参加した。参加したICT推進委員や、各学校のICT担当教員が中心となり、効果的な指導方法を全体に共有した。資質・能力を効果的に身に付けさせるための、ICT機器の更なる活用を進めている。	A	電子黒板導入に伴い、メーカーを招き、操作方法や活用方法を学ぶ研修会は、担当者の授業力向上に資するもので有効である。授業参観を通じて、楽しい授業、分かりやすい授業、ICTの効果的な活用がたくさんあると感じた。他方、ICTの効果的な活用は今後も研究の余地がある。

評価項目「豊かな心の育成」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、生徒一人一人が個の特性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。	B	週1回の教育相談部会で、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわか相談員等とも連携して情報交換を密に行っている。未然防止、早期発見、早期対応は行っている一方で、教員及び関係機関が連携した不登校生徒への支援が十分に行えているとは言えない。校則改正の取組を中心に、「多様な価値観」を前提とした民主的な話し合い活動を各学級で実施している。その分、教員の指導負担が生じ、生徒指導対応にばらつきが出てしまうことがある。こうした課題を踏まえて、業務の精選をし生み出した時間で、教員同士の情報交換をさらに密にし、共通理解、共通行動が取れるように努めていきたい。	A	多様性の時代に、各家庭の意識も変化していくなかで、生徒指導の難易度はますます上がっている。校則改正の取組などを考えると評価できる。 校則改正を中心に生徒が主体的にかかわる、学校運営が始まっている。今後生徒自身が責任をもって運用することで、成果を期待したい。 教育相談の設備が十分でないが、生徒のことを考えた工夫がされていると素晴らしい。他方、生徒の全体のメンタルは向上しているとは言えない部分も感じられる。SC、SSWが教育相談部会に加わり、取組み方を共有するとともに、より一層個に寄り添った支援をしていくことを期待する。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	A	休み時間に、室内で過ごす生徒が多い傾向がある。壁体にボール等を貸し出したり、縄跳び運動(集団走、馬跳び、腕立て伏せ等)を考たりして、基礎体力の向上を図っている。種目ごとに高められる体力を単元の導入で伝え、生徒が意識して運動に取り組めるようにしている。保健体育科教員同士で「運動好きな生徒を育てる」ことを目的とした研修を実施しているので、今後は家庭も巻き込み、体力向上に取り組んでいけるような手立てを考えていく。	A	コロナ禍による生徒の体力低下の影響がある中で、保健体育の先生方を中心に、体力向上に取り組んでいる。ただし、部活動の外部との連携は、まだ色々とできそうなので、今後の取組に期待する。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	行事(学校公開、体育祭、合唱祭等)ごとの保護者アンケートの実施をするともに、保護者会や個人面談を通して、意見を取り入れる機会を設けている。年間4回の学校運営協議会で、学校運営の状況を伝え、委員から意見を聴取したことを職員に周知して運営に生かした。学校HPを活用して、様々な情報を発信するようにしている。	S	保護者や住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、丁寧な対応をされてきた様子が、S評価が30%近くに達していることから伺える。運営協議会の進め方も大変優れていた。コロナもあり、以前の環境に戻るまで様々な意見があると思うが、実行できていることで満点である。 保護者のみならず、地域や民生委員との連携もよくとれている。保護者アンケートからも評価されているし、地域住民からも四中に親密感を感じることができる。 活発に行われているが、コミュニティ・スクールとしてはまだ協働については課題である。